

施設入所者数に関する実績値等の訂正について

訂正内容①：令和元年度末における施設入所者数

訂正内容②：第5期計画における地域移行者数の実績値算定期間

(誤)

第5期計画における地域移行者数の実績値算定期間

	第4期計画		第5期計画		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域移行者数	3	3	0	5	3
施設入所者数	128	126	128	128	127

(正)

第5期計画における地域移行者数の実績値算定期間

	第4期		第5期		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域移行者数	3	3	0	5	3
施設入所者数	128	126	128	127	127

(誤)

○障害福祉計画（第5期）の取組状況と評価

〔1〕成果目標

1 福祉施設の入所者の地域生活への移行

【施設入所者の地域移行の成果と評価】

施設入所者の地域移行については、令和元年度（2019年度）末までの地域移行者数は3人で、目標値13人に対して、23%の達成率となっています。地域における受け皿としてのサービス等の資源整備、入所者本人や家族に対しての動機付けや、計画相談支援の普及など、多くの課題があります。

■地域移行の目標値と実績

平成28年度 (2016年度)末 施設入所者数	第5期計画 地域移行者数 目標値 A	令和元年度 (2019年度)末 までの地域 移行者数 B	B - A	達成率 B / A
128人	13人	3人	▲10人	23%
	移行率9%	移行率2%		

【施設入所者数削減の成果と評価】

施設入所者数の削減については、地域移行により施設を退所される方がいる一方で、新規に入所される方もいるため、平成28年度（2016年度）末の施設入所者128人に対して、令和元年度（2019年度）末の施設入所者削減数は0人で、目標は未達成となっています。

■施設入所者数削減の目標値と実績

平成28年度 (2016年度)末 施設入所者数 A	第5期計画 施設入所者 削減数目標値 B	令和元年度 (2019年度)末 施設入所者数 C	削減数 A - C = D	達成率 D / B
128人	削減数3人 削減率2%	128人	削減数0人	0%
	施設入所者数 125人		削減率0%	

(正)

○障害福祉計画（第5期）の取組状況と評価

〔1〕成果目標

1 福祉施設の入所者の地域生活への移行

【施設入所者の地域移行の成果と評価】

施設入所者の地域移行については、令和元年度（2019年度）末までの地域移行者数は8人で、目標値13人に対して、62%の達成率となっています。地域における受け皿としてのサービス等の資源整備、入所者本人や家族に対しての動機付けや、計画相談支援の普及など、多くの課題があります。

■地域移行の目標値と実績

平成28年度 (2016年度)末 施設入所者数	第5期計画 地域移行者数 目標値 A	令和元年度 (2019年度)末 までの地域 移行者数 B	B - A	達成率 B / A
128人	13人	8人	▲5人	62%
	移行率9%	移行率6%		

【施設入所者数削減の成果と評価】

施設入所者数の削減については、地域移行により施設を退所される方がいる一方で、新規に入所される方もいるため、平成28年度（2016年度）末の施設入所者128人に対して、令和元年度（2019年度）末の施設入所者削減数は1人で、目標は未達成となっています。

■施設入所者数削減の目標値と実績

平成28年度 (2016年度)末 施設入所者数 A	第5期計画 施設入所者 削減数目標値 B	令和元年度 (2019年度)末 施設入所者数 C	削減数 A - C = D	達成率 D / B
128人	削減数3人 削減率2%	127人	削減数1人	33%
	施設入所者数 125人		削減率0.8%	

(誤)

## 第2節 障害福祉計画（第6期）

### 1 第6期計画の目標設定と実現に向けた取組

入所施設に入所する障害者の地域生活への移行及び定着や福祉施設利用者的一般就労及び就労定着に向けた取組を進めるため、前計画（第1期～第5期）の目標値設定の考え方を継承するとともに、新型コロナウイルス感染症等の新たな課題に対応するほか、本市の実情を勘案し、令和5年度（2023年度）末を目標年度とする数値目標を新たに設定します。

特に施設入所者の地域移行に関する目標や、就労継続支援B型事業所の平均月額工賃に関する目標など、第5期計画において目標の達成に至らなかった項目については、活動指標としての各サービス等の見込量の設定と合わせ、今計画期間における目標の達成に向けた取組を強化します。

### 2 成果目標

#### 〔1〕福祉施設の入所者の地域生活への移行

##### 【目標値設定の考え方】

##### ■福祉施設の入所者の地域移行者数

本市においては、国・大阪府基準に前計画の未達成状況を加味した目標設定とし、令和元年度（2019年度）末時点の施設入所者数の9%以上が令和5年度（2023年度）末までに地域生活へ移行することを目標として設定します。

##### ■施設入所者の削減数

本市においては、国・大阪府基準に沿った目標設定とし、令和元年度（2019年度）末時点の施設入所者から1.6%以上削減することを目標として設定します。

##### ■福祉施設の入所者の地域移行者数の目標値

令和元年度（2019年度）末 施設入所者数	令和5年度（2023年度）末 地域移行者数	
128人	13人	移行率9%以上

\*移行率：令和5年度（2023年度）末の国・大阪府の目標 令和元年度（2019年度）末施設入所者数の6%以上

(正)

## 第2節 障害福祉計画（第6期）

### 1 第6期計画の目標設定と実現に向けた取組

入所施設に入所する障害者の地域生活への移行及び定着や福祉施設利用者的一般就労及び就労定着に向けた取組を進めるため、前計画（第1期～第5期）の目標値設定の考え方を継承するとともに、新型コロナウイルス感染症等の新たな課題に対応するほか、本市の実情を勘案し、令和5年度（2023年度）末を目標年度とする数値目標を新たに設定します。

特に施設入所者の地域移行に関する目標や、就労継続支援B型事業所の平均月額工賃に関する目標など、第5期計画において目標の達成に至らなかった項目については、活動指標としての各サービス等の見込量の設定と合わせ、今計画期間における目標の達成に向けた取組を強化します。

### 2 成果目標

#### 〔1〕福祉施設の入所者の地域生活への移行

##### 【目標値設定の考え方】

##### ■福祉施設の入所者の地域移行者数

本市においては、国・大阪府基準に前計画の未達成状況を加味した目標設定とし、令和元年度（2019年度）末時点の施設入所者数の9%以上が令和5年度（2023年度）末までに地域生活へ移行することを目標として設定します。

##### ■施設入所者の削減数

本市においては、国・大阪府基準に沿った目標設定とし、令和元年度（2019年度）末時点の施設入所者から1.6%以上削減することを目標として設定します。

##### ■福祉施設の入所者の地域移行者数の目標値

令和元年度（2019年度）末 施設入所者数	令和5年度（2023年度）末 地域移行者数	
127人	13人	移行率9%以上

\*移行率：令和5年度（2023年度）末の国・大阪府の目標 令和元年度（2019年度）末施設入所者数の6%以上

(誤)

■施設入所者数の削減数の目標値

令和元年度（2019年度）末 施設入所者数	令和5年度（2023年度）末 施設入所者数の削減数	
128人	削減数3人 削減率1.6%以上	施設入所者数 125人

\*削減率：令和5年度（2023年度）末の国・大阪府の目標 令和元年度（2019年度）末施設入所者数の1.6%以上

【2】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

①精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数

【目標値設定の考え方】

本市においては、国・大阪府の基準に沿った目標設定とし、大阪府の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数の目標は316日であることから、それに準じて設定することとします。

また、精神病床退院後に地域での生活をできるだけ長く継続できるよう、障害者地域自立支援協議会等において退院後の支援方法について検討を行います。

■精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数の目標値

令和5年度（2023年度）末 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数
316日以上（大阪府全体）

\*令和5年度（2023年度）末の国・大阪府の目標 令和元年度（2019年度）末において316日以上

②精神病床における1年以上長期入院患者数

【目標値設定の考え方】

本市においては、大阪府の基準に沿った目標設定とし、令和5年6月末時点での精神病床における1年以上の長期入院患者数（大阪府全体の目標値）8,688人を令和元年（2019年）6月末時点の大阪府下各市町村における、精神病床における1年以上の長期入院患者数の比で按分し、318人を目標として設定します。

■精神病床における1年以上の長期入院患者数の目標値

令和5年（2023年）6月末 精神病床における1年以上の長期入院患者数
318人

\*令和5年（2023年）6月末の大阪府の目標 令和5年（2023年）6月末において8,688人

(正)

■施設入所者数の削減数の目標値

令和元年度（2019年度）末 施設入所者数	令和5年度（2023年度）末 施設入所者数の削減数	
127人	削減数3人 削減率1.6%以上	施設入所者数 124人

\*削減率：令和5年度（2023年度）末の国・大阪府の目標 令和元年度（2019年度）末施設入所者数の1.6%以上

【2】精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

①精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数

【目標値設定の考え方】

本市においては、国・大阪府の基準に沿った目標設定とし、大阪府の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数の目標は316日であることから、それに準じて設定することとします。

また、精神病床退院後に地域での生活をできるだけ長く継続できるよう、障害者地域自立支援協議会等において退院後の支援方法について検討を行います。

■精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数の目標値

令和5年度（2023年度）末 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数
316日以上（大阪府全体）

\*令和5年度（2023年度）末の国・大阪府の目標 令和元年度（2019年度）末において316日以上

②精神病床における1年以上長期入院患者数

【目標値設定の考え方】

本市においては、大阪府の基準に沿った目標設定とし、令和5年6月末時点での精神病床における1年以上の長期入院患者数（大阪府全体の目標値）8,688人を令和元年（2019年）6月末時点の大阪府下各市町村における、精神病床における1年以上の長期入院患者数の比で按分し、318人を目標として設定します。

■精神病床における1年以上の長期入院患者数の目標値

令和5年（2023年）6月末 精神病床における1年以上の長期入院患者数
318人

\*令和5年（2023年）6月末の大阪府の目標 令和5年（2023年）6月末において8,688人